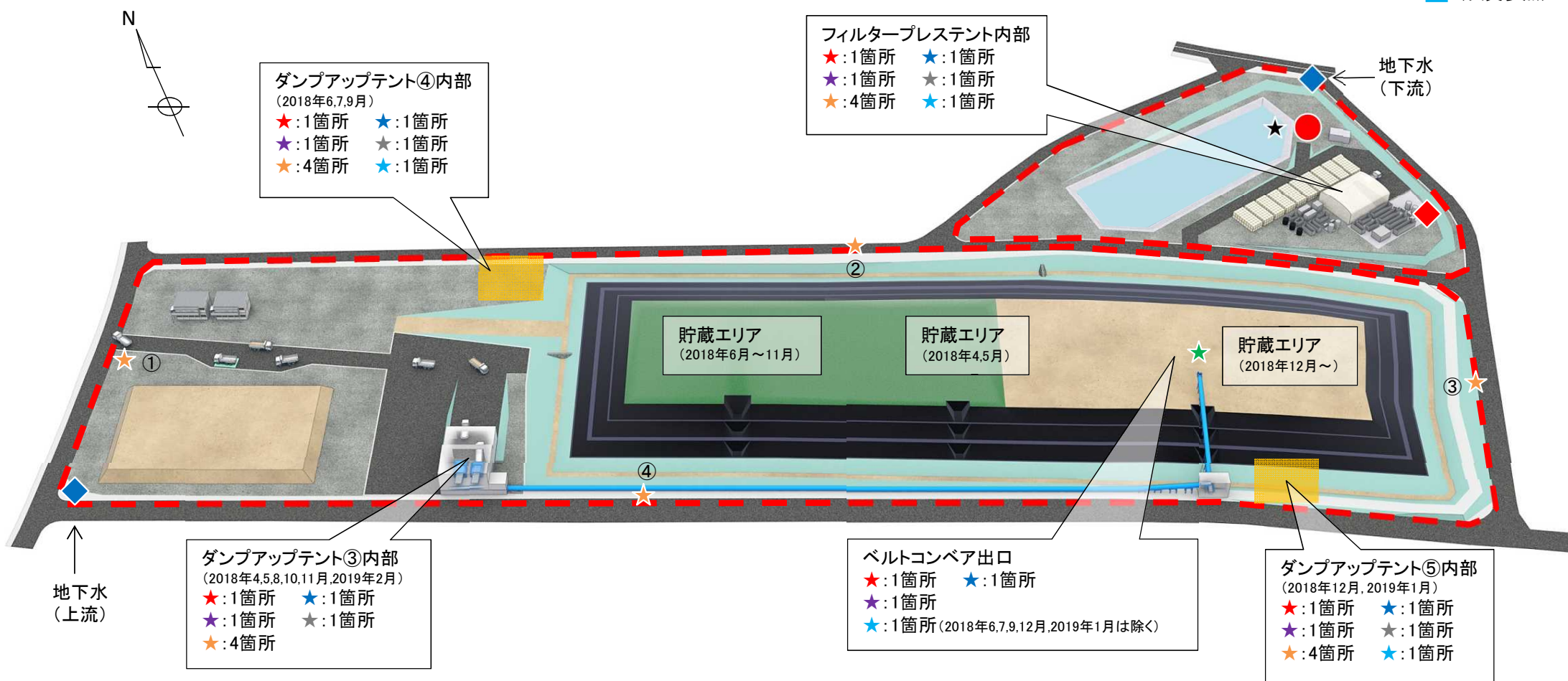


# 土壌貯蔵施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)①

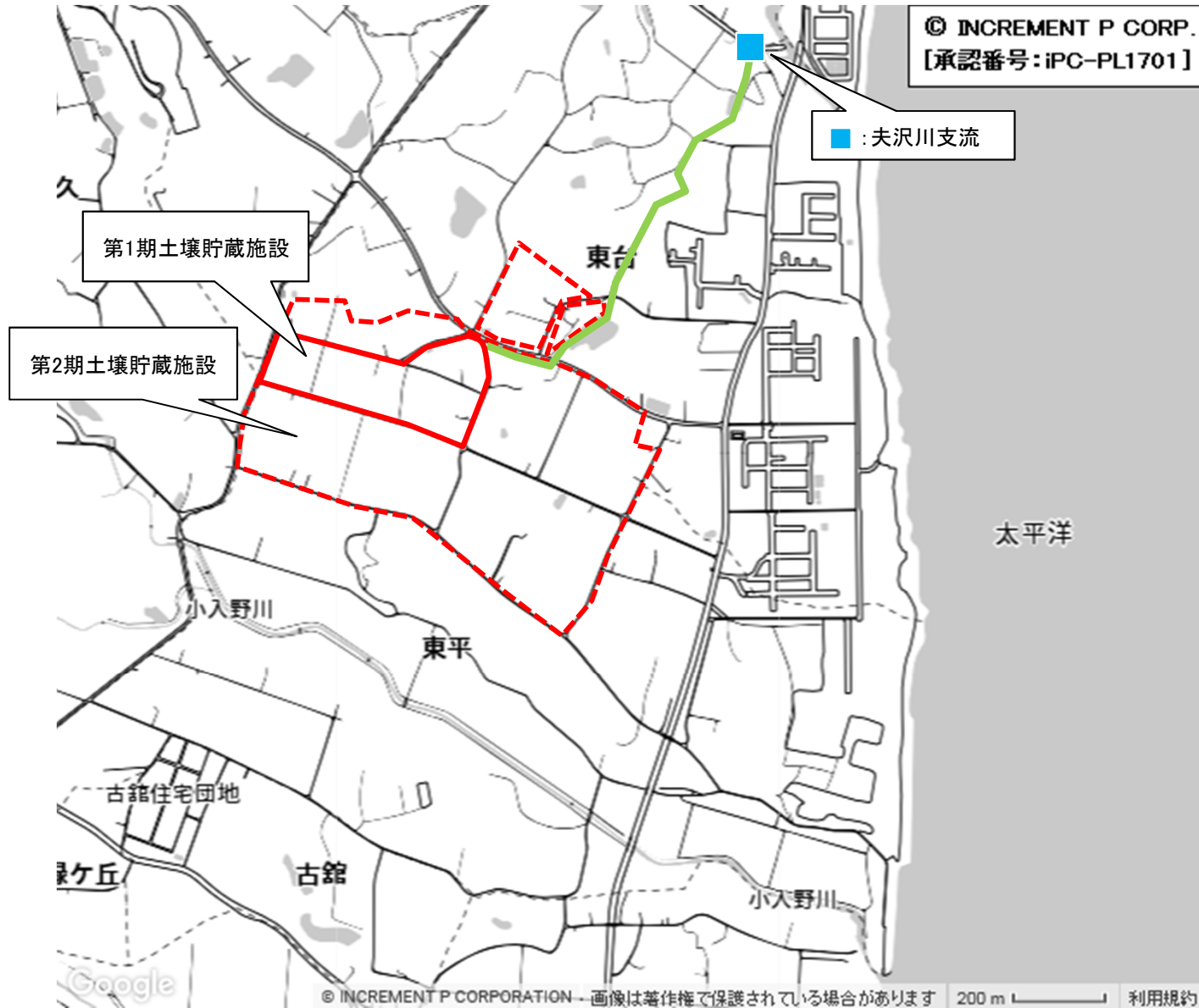
■ (次頁参照)



## 凡例

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ☆ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- ★ : 表面汚染密度(重機)
- : 敷地境界線

# 土壌貯蔵施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)②



凡例

■ : 河川水観測地点      — : 沈砂池・浸出水処理施設の放流水の流路

# 土壌貯蔵施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年2月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/10/11 (稼働前)		14	14
	2019/2/7 (稼働後)		12	11
下流	2017/10/11 (稼働前)		19	6.5
	2019/2/7 (稼働後)		32	13

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/10/5 (稼働前)		ND
2019/2/7 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/2/7		8.2	1	9.8	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/2/1 ~2019/2/28	21	0.0	2.3	ND	497.6

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/2/7		2

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/4 (稼働前)		ND	3.8
2019/2/7 (稼働後)		ND	4.9

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/2/7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.4
フィルタープレステント	0.1
ベルトコンベア出口	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/2/15 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
ダンプアップテント	0.33
フィルタープレステント	0.38
ベルトコンベア出口	1.57

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/2/15 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$  + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3}$  ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/2/15 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
ダンプアップテント	床 ③	ND
	壁 ③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	③-4	ND
フィルタープレステント	床 ②	ND
	壁 ②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	②-4	ND
貯蔵エリア	設備 フィルタープレス	ND
	重機 バックホウ①	ND
	バックホウ②	ND
	ローラー①	ND
	ブルドーザー①	ND
設備	ベルトコンベア	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年1月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率	塩化物イオン濃度
			(mS/m)	(mg/L)
上流	2017/10/11	(稼働前)	14	14
	2019/1/10	(稼働後)	12	11
下流	2017/10/11	(稼働前)	19	6.5
	2019/1/10	(稼働後)	33	12

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/10/5	(稼働前)	ND
2019/1/10	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2019/1/10		8.2	0.8	17

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/1/7 ~2019/1/31	20	1.0	1.9	ND	505.3

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/1/10		4

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/4	(稼働前)	ND	3.8
2019/1/10	(稼働後)	ND	1.3

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/1/11 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンブアップテント	7.0
フィルタープレステント	0.2
ベルトコンベア出口	0.4

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/1/18 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンブアップテント	0.21
フィルタープレステント	0.42
ベルトコンベア出口	3.45

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/1/18 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$  + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3}$  ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/1/18 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
ダンブアップテント	床	⑤	ND
	壁	⑤-1	ND
		⑤-2	ND
		⑤-3	ND
		⑤-4	ND
設備	ベルトコンベア	ND	
フィルタープレステント	床	②	ND
	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
設備	フィルタープレス	ND	
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年12月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/10/11 (稼働前)		14	14
	2018/12/6 (稼働後)		12	11
下流	2017/10/11 (稼働前)		19	6.5
	2018/12/6 (稼働後)		35	12

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/10/5 (稼働前)		ND
2018/12/6 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2018/12/6		7.3	0.7	13

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/12/1 ~2018/12/26	18	1.2	4.8	ND	445.4

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2018/12/7		3

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/4 (稼働前)		ND	3.8
2018/12/6 (稼働後)		ND	1.8

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/12/6 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.3
フィルタープレセント	ND
ベルトコンベア出口	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/12/14 (稼働後)
	空間線量率 (µSv/h)
ダンプアップテント	0.38
フィルタープレセント	0.24
ベルトコンベア出口	2.03

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/12/14 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/12/14 (稼働後)	
		表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
ダンプアップテント	床	⑤	ND
		⑤-1	ND
	壁	⑤-2	ND
		⑤-3	ND
		⑤-4	ND
		設備	ベルトコンベア
フィルタープレセント	床	②	ND
		②-1	ND
	壁	②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
設備	フィルタープレス	ND	
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年11月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/10/11 (稼働前)		14	14
	2018/11/1 (稼働後)		12	9.9
下流	2017/10/11 (稼働前)		19	6.5
	2018/11/1 (稼働後)		34	11

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	放射能濃度 (Bq/L)
2017/10/5 (稼働前)	ND
2018/11/1 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2018/11/1	6.9	0.9	12	2

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/11/1 ~2018/11/28	19	0.4	3.9	ND	429.6

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2018/11/2	3

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2017/10/4 (稼働前)	ND	3.8
2018/11/1 (稼働後)	ND	2.5

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/11/1,2 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンブアップテント	0.7
フィルタープレステント	0.1
ベルトコンベア出口	0.2

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/11/14 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
ダンブアップテント	0.48
フィルタープレステント	0.24
ベルトコンベア出口	2.50

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/11/14 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/11/14 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
ダンブアップテント	床	③	ND
	壁	③-1	ND
		③-2	ND
		③-3	ND
フィルタープレステント	床	②	ND
	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
貯蔵エリア	設備	②-4	ND
	重機	フィルタープレス	ND
		バックホウ①	ND
		バックホウ②	ND
設備	ローラー①	ND	
	ブルドーザー①	ND	
	ベルトコンベア	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年10月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率	塩化物イオン濃度
			(mS/m)	(mg/L)
上流	2017/10/11	(稼働前)	14	14
	2018/10/4	(稼働後)	13	13
下流	2017/10/11	(稼働前)	19	6.5
	2018/10/4	(稼働後)	21	8.9

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/10/5	(稼働前)	ND
2018/10/4	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/10/4		7.9	0.7	7.2	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/10/1 ~2018/10/31	37	0.0	4.0	ND	836.5

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/10/4		4

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/4	(稼働前)	ND	3.8
2018/10/4	(稼働後)	ND	6.0

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/10/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンブアップテント	0.2
フィルタープレステント	0.2
ベルトコンベア出口	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/10/26 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
ダンブアップテント	0.48
フィルタープレステント	0.26
ベルトコンベア出口	2.40

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/10/26 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$  + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3}$  ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/10/26 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
ダンブアップテント	床	③	ND
		③-1	ND
	壁	③-2	ND
		③-3	ND
フィルタープレステント	床	②	ND
		②-1	ND
	壁	②-2	ND
		②-3	ND
設備	②-4	ND	
	フィルタープレス	ND	
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		バックホウ②	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
設備	ベルトコンベア	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年9月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率	塩化物イオン濃度
			(mS/m)	(mg/L)
上流	2017/10/11	(稼働前)	14	14
	2018/9/6	(稼働後)	13	12
下流	2017/10/11	(稼働前)	19	6.5
	2018/9/6	(稼働後)	28	12

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度
		(Bq/L)
2017/10/5	(稼働前)	ND
2018/9/6	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質量
		(pH)	(BOD) (mg/L)	(COD) (mg/L)	(SS) (mg/L)
2018/9/6		7.5	ND	10	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(0.5mg/L)未満であることを示す。

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム	放流量
		最小値	最大値		
2018/9/1 ~2018/9/28	50	1.3	3.7	ND	1238.3

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量
		(SS) (mg/L)
2018/9/6		6

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
		(Bq/L)	(Bq/L)
2017/10/4	(稼働前)	ND	3.8
2018/9/6	(稼働後)	1.3	9.0

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/9/6,7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	1.4
フィルタープレセント	0.1
ベルトコンベア出口	0.3

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/9/13 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.45
フィルタープレセント	0.26
ベルトコンベア出口	2.65

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/9/13 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	2018/9/13 (稼働後)		
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )		
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
ダンプアップテント	床	④	ND
		④-1	ND
		④-2	ND
		④-3	ND
	壁	④-4	ND
設備		ベルトコンベア	ND
フィルタープレセント	床	②	ND
		②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
	壁	②-4	ND
設備		フィルタープレス	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		バックホウ②	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>



# 土壌貯蔵施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年8月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/10/11 (稼働前)		14	14
	2018/8/2 (稼働後)		13	13
下流	2017/10/11 (稼働前)		19	6.5
	2018/8/2 (稼働後)		36	17

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/10/5 (稼働前)		ND
2018/8/2 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2018/8/2	7.4	<0.5	5	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/8/6 ~2018/8/30	59	1.0	4.8	ND	1395.8

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/8/2		3

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/4 (稼働前)		ND	3.8
2018/8/2 (稼働後)		ND	10

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/8/1,2 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.7
フィルタープレセント	0.3
ベルトコンベア出口	0.7

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/8/29 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.42
フィルタープレセント	0.25
ベルトコンベア出口	2.65

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/8/29 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$  + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3}$  ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/8/29 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
ダンプアップテント	床	③	
	壁	③-1	ND
		③-2	ND
		③-3	ND
	③-4	ND	
フィルタープレセント	床	②	
	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
	②-4	ND	
	設備	フィルタープレス	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
	設備	ベルトコンベア	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第1期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年7月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/10/11 (稼働前)		14	14
	2018/7/5 (稼働後)		13	12
下流	2017/10/11 (稼働前)		19	6.5
	2018/7/5 (稼働後)		32	11

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/10/5 (稼働前)		ND
2018/7/5 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/7/5		7.3	0.6	5.8	3

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/7/4 ~2018/7/31	42	0.7	4.8	ND	1086

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/7/6		2

SS基準: 60mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/4 (稼働前)		ND	3.8
2018/7/5 (稼働後)		ND	8.0

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/7/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンブアップテント	1.7
フィルタープレステント	0.3
ベルトコンベア出口	0.2

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/9,13 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
ダンブアップテント	0.57
フィルタープレステント	0.26
ベルトコンベア出口	1.43

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/9,13 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/7/9,13 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
ダンブアップテント	床	④	
	壁	④-1	ND
		④-2	ND
		④-3	ND
設備	ベルトコンベア	ND	
フィルタープレステント	床	②	
	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
設備	フィルタープレス	ND	
貯蔵エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年6月①

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/10/11	(稼働前)	14	14
	2018/6/7	(稼働後)	13	12
下流	2017/10/11	(稼働前)	19	6.5
	2018/6/7	(稼働後)	33	13

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/10/5	(稼働前)	ND
2018/6/7	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ◆処理水中の水素イオン濃度等

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/6/7		7.6	0.6	11	2

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1 mg/L

浮遊物質量 (SS) のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	水素イオン濃度 (pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2018/6/5	2	7.66	7.89	4.10	4.51	ND	61.1
2018/6/6	1	8.15	8.15	2.75	2.75	ND	5.5
2018/6/11	16	6.66	7.72	1.46	2.89	ND	442.2
2018/6/12	6	6.94	7.48	1.59	2.30	ND	161.8
2018/6/13	4	7.10	7.49	1.74	2.14	ND	105.9
2018/6/14	4	7.21	7.58	1.76	2.09	ND	107.2
2018/6/15	4	7.43	8.05	1.94	2.23	ND	94.5
2018/6/16	4	7.27	7.82	2.18	2.45	ND	80.0
2018/6/18	2	7.36	7.53	2.71	3.10	ND	58.0
2018/6/19	2	7.23	7.33	2.99	3.14	ND	37.1
2018/6/20	2	7.16	7.31	3.29	3.55	ND	59.8
2018/6/21	3	7.24	7.52	3.51	3.76	ND	91.0
2018/6/26	2	7.42	7.64	0.53	1.27	ND	44.9
2018/6/27	1	7.54	7.54	0.39	0.39	ND	29.4
2018/6/28	2	7.41	7.97	0.21	0.41	ND	49.1

pH管理値：5.8～8.6の範囲内であること。

濁度管理値：5以下であること。

放射性セシウム管理値：NDであること。

NDとは、検出下限値 (5.85Bq/L) 未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/6/7		3

報告下限値：1 mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/4	(稼働前)	ND	3.8
2018/6/7	(稼働後)	ND	4.0

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

# 土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年6月②

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/6/7 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	1.6
フィルタープレステント	0.2
ベルトコンベア出口	0.2

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/6/28 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.59
フィルタープレステント	0.28
ベルトコンベア出口	1.30

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/6/26 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137： 5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度(★床、★壁、埋立施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2018/6/28 (稼働後)	
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
埋立施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
ダンプアップテント	床	④	
	壁	④-1	ND
		④-2	ND
		④-3	ND
		④-4	ND
設備	ベルトコンベア	ND	
フィルタープレステント	床	②	
	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
設備	フィルタープレス	ND	
埋立エリア	重機	バックホウ①	ND
		ローラー①	ND
		キャリアダンプ①	-
		ブルドーザー①	ND
		スクレーパー①	-

表面汚染密度検出下限値： 0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年5月①

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/10/11	(稼働前)	14	14
	2018/5/10	(稼働後)	14	13
下流	2017/10/11	(稼働前)	19	6.5
	2018/5/10	(稼働後)	27	10

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/10/5	(稼働前)	ND
2018/5/10	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ◆処理水中の水素イオン濃度等

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量(BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2018/5/10		7.9	1.6	8.3	1

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1 mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	水素イオン濃度(pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2018/5/10	2	6.98	7.35	0.81	1.34	ND	30.8
2018/5/11	2	7.25	7.45	0.46	0.65	ND	58.5
2018/5/12	2	7.59	7.84	0.51	0.55	ND	63.6
2018/5/14	2	7.80	7.86	0.76	1.11	ND	58.7
2018/5/15	3	7.65	7.67	0.24	0.58	ND	65.3
2018/5/24	1	7.47	7.47	1.51	1.51	ND	32.5
2018/5/25	3	7.63	8.24	0.40	0.65	ND	48.4

pH管理値：5.8~8.6の範囲内であること。

濁度管理値：5以下であること。

放射性セシウム管理値：NDであること。

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量(SS) (mg/L)
2018/5/10		12

報告下限値：1 mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/4	(稼働前)	ND	3.8
2018/5/10	(稼働後)	ND	4.0

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

# 土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年5月②

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/5/10 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	0.4
フィルタープレステント	0.2
ベルトコンベア出口	0.3

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/5/29 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.58
フィルタープレステント	0.26
ベルトコンベア出口	1.66

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/5/29 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$ +セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3} \leq 1$

## 表面汚染密度(★床、★壁、埋立施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2018/5/29 (稼働後)		
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )		
埋立施設境界	①	ND		
	②	ND		
	③	ND		
	④	ND		
ダンプアップテント	床	③		
	壁	③-1	ND	
		③-2	ND	
		③-3	ND	
		③-4	ND	
フィルタープレステント	床	②		
	壁	②-1	ND	
		②-2	ND	
		②-3	ND	
		②-4	ND	
	設備	フィルタープレス	ND	
埋立エリア	重機	バックホウ①	ND	
		ローラー①	ND	
		キャリアダンプ①	-	
		ブルドーザー①	ND	
	スクレーパー①	-		
設備	ベルトコンベア	ND		

表面汚染密度検出下限値： 0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年4月①

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2017/10/11	(稼働前)	14	14
	2018/4/5	(稼働後)	14	12
下流	2017/10/11	(稼働前)	19	6.5
	2018/4/5	(稼働後)	26	11

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/10/5	(稼働前)	ND
2018/4/5	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ◆処理水中の水素イオン濃度等

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量 (BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)
		(-)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2018/4/5		7.1	0.6	3.5	ND

浮遊物質 (SS) の報告下限値：1 mg/L

浮遊物質 (SS) のNDとは、報告下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	水素イオン濃度 (pH)		濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値	最小値	最大値		
2018/4/2	2	6.98	7.35	0.69	1.14	ND	59.8
2018/4/4	1	7.61	7.61	1.29	1.29	ND	3.3
2018/4/5	1	7.43	7.43	1.09	1.09	ND	31
2018/4/7	1	7.10	7.10	1.68	1.68	ND	28.6
2018/4/26	4	7.14	7.21	1.20	2.36	ND	119
2018/4/27	3	7.17	7.86	2.20	2.41	ND	70.8

pH管理値：5.8~8.6の範囲内であること。

濁度管理値：5以下であること。

放射性セシウム管理値：NDであること。

NDとは、検出下限値 (5.85Bq/L) 未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS)
		(mg/L)
2018/4/5		4

報告下限値：1 mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/4	(稼働前)	ND	3.8
2018/4/5	(稼働後)	ND	4.0

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

# 土壌貯蔵施設(1期大熊工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年4月②

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/4/5,6 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	0.8
フィルタープレステント	0.2
ベルトコンベア出口	1.0

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

測定結果は、デジタル粉じん計の値から後日取得した区画ごとの換算係数により算出した。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/4/26 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.65
フィルタープレステント	0.37
ベルトコンベア出口	2.14

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/4/25 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア出口	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度(★床、★壁、埋立施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2018/4/26 (稼働後)	
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
埋立施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
ダンプアップテント	床	③	ND
	壁	③-1	ND
		③-2	ND
		③-3	ND
		③-4	ND
フィルタープレステント	床	②	ND
	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
	設備	フィルタープレス	ND
	埋立エリア	重機	バックホウ①
ローラー①			ND
キャリアダンプ①			-
ブルドーザー①			ND
スクレーパー①			-
設備		ベルトコンベア	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>